

ディスコグラフィー収載

ディスコグラフィー【2015No.37】(HP 収載)

分類：CD

作曲家：Anton Bruckner:

曲名：Symphony No. 6 in A major(Nowak 1952) Symphony No. 7 in E Major
(Nowak 1954)

演奏：Mariss Jansons 指揮 Royal Concertgebouw Orchestra

発売：Presto Classical

No. : RCO14005

概要：



この CD は[コンセルトヘボウの演奏会](#)で買い求めてきたものです。

7 番の方は、1992 年 3 月 31 日にチェリビダッケが 1954 年以来 38 年ぶりに Schauspielhaus Berlin でベルリンフィルを指揮した演奏がベルリンフィルデジタルコンサートホールのアーカイブにありますので再度聴き比べてみました。



また、ライブ録音ということですので、コンセルトヘボウのホームページ等からホールの画像を引用して添付します。



7番の方は、ホールの構造そのままのCDらしからぬ広がりとお行き感たっぷりで実に美しい演奏です。2015年録音の[ディスコグラフィー【2015No.36】](#)のマーラー4番もそうですが、この2012年録音のCDも含めてRCOシリーズのCDの特徴ではないでしょうか。

一方、チェリビダッケのベルリンフィルは、[放送ストリーミング情報【2015No.41】](#)に書いたとおりです。

「チェリビダッケはブルックナーの7番をゆっくりめのテンポで淡々と進めていきます。しかし、その音楽性は緊張感あふれる中にも聴衆の心を捉えて行くようです。それは演奏を終えた時のチェリビダッケの表情や聴衆の反応にも表れています。そこではオーケストラとともに達成感を感じている一人の音楽家があるだけです。」

6番の方も、曲の方は地味ながら7番と同様の印象で、RCOシリーズのCDの特徴を出しています。